

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年10月15日（木）
- 2 確認箇所
H4タンクエリア
- 3 確認項目
建屋内RO循環設備濃縮水移送ラインの設置状況

4 確認結果の概要

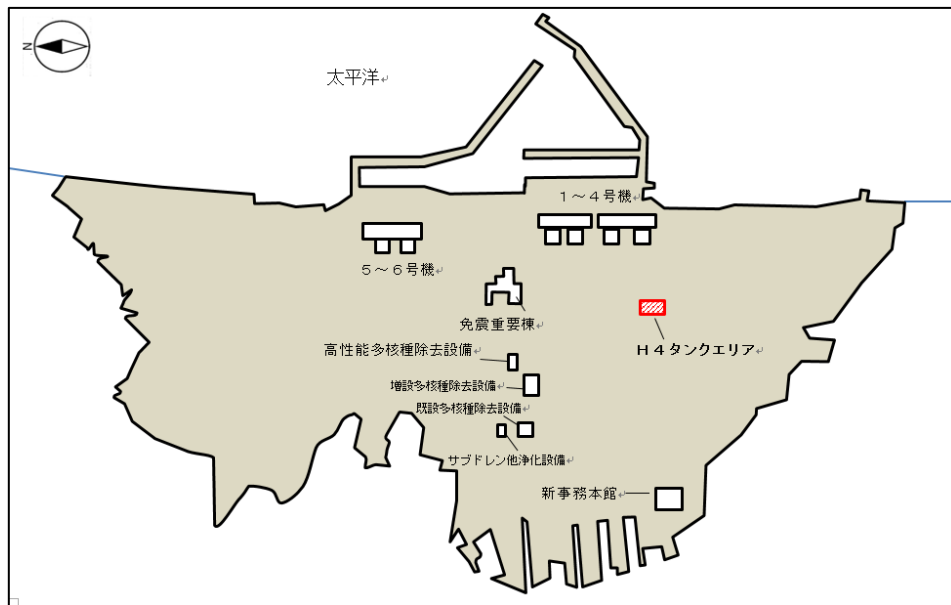
1～4号機タービン建屋等の地下階には、津波や炉心冷却水など海水成分を含んだ放射性汚染水が滞留しており、東京電力では滞留水の発生量を抑制するため、滞留水をセシウム吸着装置で処理した水を淡水化装置（以下、「RO」という。）により塩分を除去し、再び原子炉へ注水する循環冷却を行っている。

今回、ROのうち4号機タービン建屋内に設置されているRO（以下、「建屋内RO」という。）から排出される濃縮水*を受けられるための増設RO濃縮水受タンクの設置が、H4タンクエリアで進められていることから進捗状況を確認した。（図1～2）

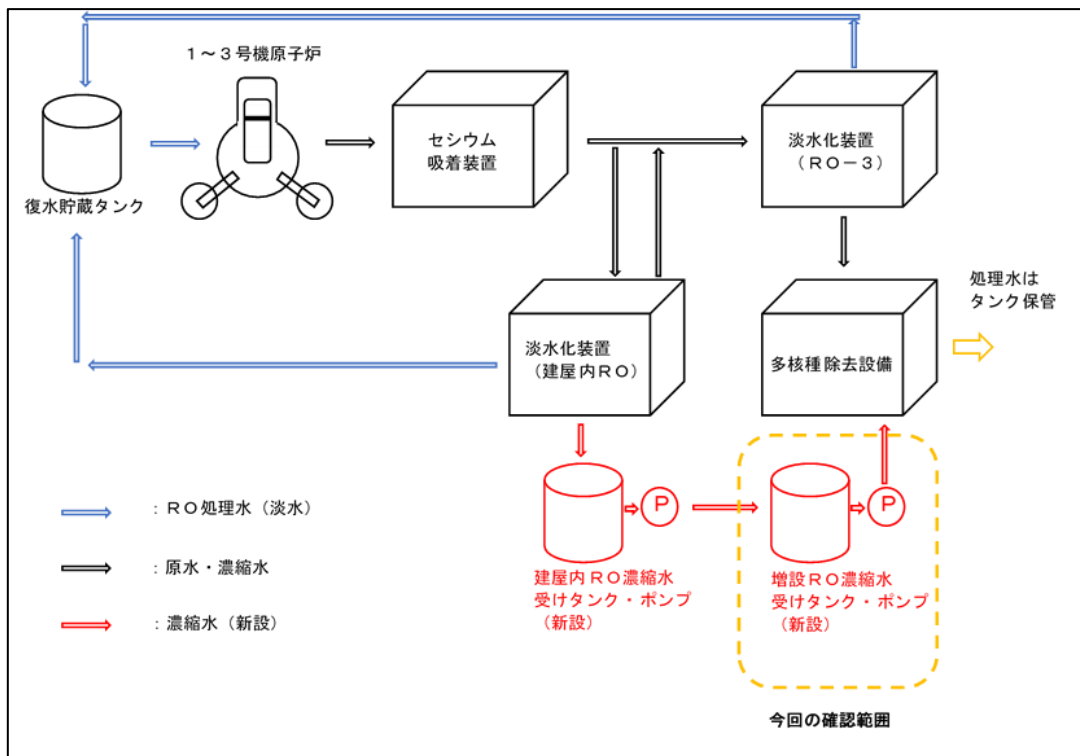
なお、前回（令和2年7月28日）までに、タンク据付け及びポンプの設置が完了し、配管敷設工事が進められていた。

- ・現場確認時、配管敷設工事は完了しており、タンク周りの配管などに保温材を取り付けるための足場を組む作業が行われていた。（写真1）
- ・堰内においては、剥がれたポンプ等の養生シートを補修する作業が行われていた。（写真2）
- ・堰の雨水排水口には雨水排水管が接続されており、雨水排水管は金属製の支持架台に固定されて敷設されていた。（写真3）

※ 建屋内ROの濃縮水については、現在は既設（RO-3）のラインを經由して移送されているが、今後は更なる漏洩リスク低減及び地震等自然災害に対する信頼性確保などの観点から、新たな移送ラインの構築が進められている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) RO処理系統概略図



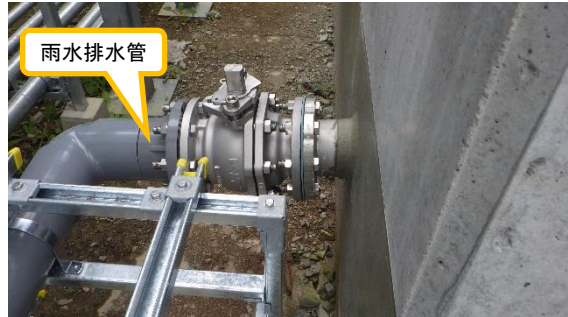
(写真1)
 増設RO濃縮水受タンクの概況
 (足場を組む作業が行われていた。)



(写真2)
 堰内の養生シート補修作業の状況



(写真3-1)
 堰の雨水排水口の状況
 (令和2年7月28日撮影)



(写真3-2)
 同左
 (令和2年10月15日撮影)



(写真3-3)
 雨水排水管の敷設状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。